

## 日本の性感染症情報

昨年(2028年)の11月末から日本性感染症学会に出席してきたよ。そこで話題にされていた日本の性感染症のここ数年の動向についてみんなに知ってほしいことがある。大きな特徴としては、梅毒の感染者が急増しているということ。(下に日本の感染者数のグラフを入れてみたよ。ちょっと見にくいけどごめんなさい。)梅毒というと昔の病気のイメージが強かったけど、今はそうじゃないんだ。梅毒は1495年にヨーロッパで初めて確認され、その後欧米全土に広がった。性感染症のこわいところは、自分が感染しているのに気づかずに相手に感染させてしまうということなんだよ。だから人から人へとあっという間に広がってしまったんだ。なぜ日本で急増しているのかは遺伝子レベルで研究が行われている。



日本の性感染症といえば、やはりクラミジアがダントツで感染者数が多い。特に若い人たちにね。また淋菌感染症については、この菌をやっつけてきた薬が効かないタイプが出てきていて問題になっている。

最近の性感染症の特徴として、症状が出ない又は顕著ではない感染症が多いなあと感じてるんだ。病原体はヒトの身体に入っているのを気づかれたら生きていけなくなるから、自分が潜んでいることがわからないように、静かにするようになってきているのかなって、私は勝手に思ってるんだけど(笑) HIVなんかは特にそうだよ。検査しなければ感染に気づかない、無治療だといつかは発症するけど、それまでの潜伏期間が長いなどの特徴がある。基本的にウイルスは単独では生きていけないから、生物の身体に棲みついて生活している。その宿屋さんのご主人のことを「宿主」というんだ。=「感染者」だね。

HIVの予防方法として、ハイリスクの人に事前に抗HIV薬を服用してもらう方法が現在研究されている。これを「PrEP」(暴露前予防内服)という。

その他、妊娠がわかって事前に検査した時は陰性でも、分娩の時は性感染症に感染してたという人の赤ちゃんに、先天性梅毒などが確認されている。

またコンドームでは予防できない性感染症も複数存在する。これらのことについて、詳しく勉強したい人は保健室にぜひお越しください。

今年の干支シリーズ もるちゃん

